令和8年度 見本市出展報告書

事業所名：株式会社マルサン近藤

1.見本市の概要

見本市名	東京インターナショナル・ギフト・ショー 秋 2026 ／ 第 20 回 LIFE×DESIGN
会期	2026年9月 2 日(水)～4 日(金)
場所	東京ビッグサイト

2.出展の詳細

出展回数 / 今回の小間数	通算 2 回 / 2 小間

3. 見本市へ出展する目的

新規顧客獲得、既存顧客への新商品のお披露目および販促、企画中商品の意見を得るため

4. 会期中について

展示した商品内容(出展商品名、新商品・従来品の割合等)

新商品→KYOROKYORO、スタラクタイト、ニット、いーと JAPAN～おむすび～、古染鯉、益見窯(金釉粒)、Mute

企画中商品(受注商品)→桜祥瑞、ブルーミングマグ、OMIYA JAPAN、Kawaii pets.(新ラインナップ追加)

既存商品→Kawaii pets.、魚器、はなこまち、TOSS、レトロ中華、インスタン丼、窯変オーバルカレー、削十草、益見窯(金銀彩)、角山窯

販売力強化戦略(商談成立のための工夫、ブース内の展示の工夫等)

今回の展示会では、3 面開放というブースの特性を最大限に生かし、来場者から見た際に商品の訴求力が高まるレイアウトを意識しました。向かって右側には、来場者の目線が自然に

集まりやすいように通常より高さのあるカウンターを設置し、カウンターのメイン部分には動物をモチーフにした商品を展示することで、アイキャッチとして活用しました。向かって左側のメインテーブルには、新商品の中でも冬向けの商品を展示し、季節感を出すとともに新商品の認知につなげられるよう工夫しました。また、ブース全体をより目立たせるために壁面にはマスタード色、床面のカーペットには青色を採用し、遠くからでも視認しやすい色使いにしました。

5. 総括

来場者の傾向・見本市全般の感想等

今回の展示会では、小間位置が良かったこともあり、例年と比較して前の通路の人通りが多くブースへ立ち寄っていただける来場者も多かったように感じました。特に「アクティブデザイン」には多くの来場者が集まっており、その会場のお客様が弊社ブースへ流れてきていたのではないかと思います。一方で、見本市全体としては、例年と比べて来場者数はそれほど多くなく、会場全体の賑わいについてはやや落ち着いた印象を受けました。また、外国人来場者についても、前回の秋の同展示会と比較すると、弊社のブースへ立ち寄る方は少なかったです。

出展の成果（販路開拓委員会から出展することで得られた成果を含む）

今回の展示会では、複数の面で大きな成果を得ることができました。特に、企画中の商品である「ブルーミングマグ」は、来場者から想像以上に高い反響があり、雑貨店からギフト専門会社まで多くの方から興味を持っていただきその結果、即商品化が決定しました。また、今回の商談数は過去最多となり、新規顧客との接点を増やすことができました。久しぶりに 2 小間で出展したことで、展示できる商品点数が増え、既存の売れ筋商品も新規顧客に対して紹介・提案することができました。さらに、貿易関連では金額規模の大きい受注を獲得することができ、売上面でも具体的な成果につながりました。今回の出展を通して、新商品の市

場性を確認できたことに加え、新規顧客の開拓や大型受注の獲得など、今後の販売拡大につながる有意義な展示会となりました。販路開拓委員会から出すことで費用負担が通常より少なく小間数を増やすことができたので今後も2小間で展示会に出展していきたいと思います。

今後の課題と活動方針

今回の展示会を通して、出展場所が集客に大きく影響することを改めて認識しました。今回はブース前の人通りが多く、沢山の来場者に立ち寄っていただけたため、今後も今回と同程度の集客が期待できる場所を選んで出展していきたいです。また、2 小間での出展により展示できる商品数を増やし幅広い商品を提案できたため、今後も基本的には 2 小間での出展を継続したいと思います。一方で、今回は OEM に関する相談が少なかったため、次回からはブース全体の雰囲気やデザインを損なわないように配慮しながら、「OEM 承ります」などの表示を設置し、OEM を検討している来場者にも OEM 対応可能ということが伝わるように改善したいです。また、動物商品やブルーミングマグなど反響の大きかった商品をカウンターに展示したことでアイキャッチ効果は高かった一方で、冬向けの新商品が目立ちにくくなってしまった部分もありました。今後は、注目商品による集客と新商品の訴求を両立できる展示方法を検討し、より多くの商談・受注につなげていきたいです。

6.写真と注釈（当日のブースの様子、新商品や主力商品）



ブース全体



アイキャッチになった商品



冬向き新商品



既存の売れ筋商品